

令和 3 年度

大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠  
点形成・大学スポーツアドミニストレーター  
配置支援事業  
成果報告書

令和 4 年 3 月

学校法人 濱名山手学院

(関西国際大学)

第1章. 事業概要.....	1
1. 事業趣旨・目的.....	1
2. 事業内容.....	1
第2章. 今年度事業の取り組み.....	2
1. スポーツ分野の統括業務について.....	2
2. 大学スポーツアドミニストレーターの資質・役割・業務.....	3
3. 大学のスポーツ資源を活用したコンソーシアムの形成及び事業の実施.....	4
第3章. 事地域活性化に向けた具体的な取組の実施結果.....	5
1. スポーツ×防災イベントの実施.....	5
2. 三木キャンパスのオープンキャンパスでのスナッグゴルフ体験.....	8
3. ゴルフ場体験.....	8
4. 神戸電鉄「広野ゴルフ場前駅」デコレーション事業.....	9
5. 地域住民参加の「親子でスポーツ×防災フェス」イベント.....	10
6. 「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」.....	11
① 実施概要.....	11
② ゴルフ実習・体幹トレーニング.....	11
③ 公開講座「フィギュアスケート 氷の上で感じた世界」.....	12
7. 卒業生アスリートによる新入生向け講演会.....	14
第4章. その他.....	14

## 第1章 事業概要

### 1. 事業趣旨・目的

関西国際大学三木キャンパスが保有するスポーツ資源（人材・施設・知識）及び 防災・看護資源を軸として、2020年9月に設置したスポーツ振興・地域活性化推進センターが中心となり、三木市の協力を得て設立したコンソーシアム（2021年1月）と共に、地域貢献、地域の経済活性化、健康増進を目指した全学的な取組みを行う。

### 2. 事業内容

本事業においては、学内に設置したスポーツアドミニストレーター（SA）が中心となり、地域のプレーヤーが参画したコンソーシアムにおいて、本学及び地域の強み・特徴であるスポーツ・防災・看護に係る資源を活用した地域活性化・地域防災力向上策を検討する。特に、三木市三大産業の一つであるゴルフを中心とした施策を展開し、地域活性化、地域の防災力向上への貢献、SDGs（特にGOAL11,17）への貢献を目指す。

#### (1) コンソーシアムの形成

2020年度：既存連携先を中心とした初期コンソーシアムの形成（設置済）

2021～2022年度：地域活性化施策を踏まえたコンソーシアムの拡大

#### (2) 地域活性化策

防災スポーツのトライアル実施および市民向けイベントを三木市と連携して企画・実施する。

スポーツ関連の公開講座を実施し、市民の健康増進に寄与する。

#### (3) ゴルフ文化の定着

三木キャンパス内において2020年度開講の「生涯スポーツ(ゴルフ実技)」を継続して実施する。

「生涯スポーツ(ゴルフ実技)」の座学部分は公開講座として、地域市民へも開放する。特に、若年層への普及促進を図るためYouTube配信を検討する。

「生涯スポーツ(ゴルフ実技)」に参加した学生を中心に、三木市内のゴルフ場で継続開催される「春高・春中ゴルフ」のボランティアスタッフとして参加し、活動を支援する。

オープンキャンパスの経営学科・地域マネジメント専攻ブースで三木市3大産業の一つとしてのゴルフを紹介し、来場者（高校生やその保護者）へもスナッグゴルフを経験してもらい、ゴルフを身近に感じてもらう機会提供を行う。

#### (4) スポーツコミッションへの発展と強化

今年度は、以上の取組を収益事業化できる方策を模索し、来年度以降のスポーツコミッションへの発展を目指す。そして、将来的な一般社団化も視野に入れて事業を自走化させることで大学の財政基盤の安定化を図る。さらに、三木キャンパスで学んだ学生が、スポーツを通じた地域活性化を担う専門人材となり、三木市が掲げるゴルフのまち推進に寄与できるという先進的モデル事業を目指す。

## 第2章. 今年度事業の取り組み

### 1. スポーツ分野の統括業務について

学内組織の整備：本事業実施の中心となる「スポーツ振興・地域活性化推進センター」を整備。

#### スポーツ振興・地域活性化推進センターについて

##### ○目的

本学のスポーツ資源が集中する三木キャンパスに、学長直轄の組織として大学スポーツ資源の強化とスポーツを活用した地域活性化を推進することを目的に設置。学長直轄とすることで、広く大学内他部局とも連携した円滑な業務管理を行っている。

##### ○組織

- ・センター長：経営学部長が兼務し、本事業における教学、学生指導の総責任者
- ・スポーツアドミニストレーター（以下、SAと略）：センター長の直下に配置
- ・アシスタント・スポーツアドミニストレーター
- ・サポート体制：セーフティマネジメント教育研究センター、保健医療学部看護学科がサポート
- ・事務局：大学事務局の学生部、渉外部の2つの部が連携して担当

スポーツ振興関連 学生部三木C学生課(学生寮の管理・運営など強化クラブの支援を所管)  
地域との連携関係 渉外部社会連携課

##### ○組織の活動

学内組織、学外組織と連携しながら、「スポーツと地域活性化」「SDGsと防災」「自治体、関係企業・団体との連携推進」をミッションとして掲げ、以下の活動を展開する。

- ・SDGsと連動するスポーツ振興と防災、安全安心教育を全学に展開し、本学の新たなブランディングとするべく、推進計画のグランドデザインを策定する。
- ・防災、安全安心教育の更なる充実を図り、学生アスリートを中心とした学生のキャリア育成とキャリア支援を行う。
- ・コロナ禍におけるアスリートの能力強化を支援する。
- ・卒業生アスリートによる講演会を実施し、大学時代に学んでおくべきことを再認識させ、アスリート学生が卒業後の自身のキャリアについて意識する機会提供を行う。
- ・現在の経営学科カリキュラムでは、インターンシップが必修である（2年夏学期開講を標準）が、三木キャンパスでの受入先を市内ゴルフ場に拡充し、受入先と協働し、アスリート学生にとって効果的なプログラム内容に再構築。
- ・キャリア支援課と連携し、一般学生とは別に「アスリート学生のための企業合同説明会」を開催する。参加企業はインターンシップ受入先を中心とし、インターンシップでの体験が、就職活動に活かされる流れを可視化する。
- ・ゴルフ文化の定着を目指し、継続して「生涯スポーツ」を開講する。また、新たに経営学科・地域マネジメント専攻では、地域の産業を知る手がかりとして「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」（2年秋学期）の中で「ゴルフ場体験」を実施し、産業としてのゴルフについて学ぶ。
- ・中長期的な活動として、大学収益事業を企画・立案・実施する。

## 2. 大学スポーツ・アドミニストレーターの資質・役割・業務

前述の通り、大学スポーツアドミニストレーターを「スポーツ振興・地域活性化推進センター」に継続して配置。

ここでは、大学スポーツ・アドミニストレーターに雇用した者の求められた資質・能力・役割に加え具体的に行った業務を掲載する。

図表 スポーツアドミニストレーター配置内容

項目	内容
氏名	小川 一也（学生課主査）
資質・能力	小川氏は、高校の体育教員としての20年以上の経歴を持ち、スポーツ関係 NPO 法人を地域有志と共に設立・運営した実績があり、スポーツを核にした地域振興のノウハウもある。現在は学生課において強化クラブの活動を支援しているが、過去に本学サッカー部の指導を行っていた経験から、各強化クラブとの人的ネットワーク・関係性も良好である。本学のスポーツ資源の強化と地域へ一層の貢献が求められる本学スポーツ事業の中核として適任である。
役割	学内外の組織と連携しながら、本学のスポーツ分野の統括業務を中心となって推進する。また、コンソーシアムの形成・運営の中心となり、SDGs・スポーツ・防災を通じた地域活性化施策を企画・推進するために、以下の役割を担う。 SDGs とスポーツ振興策の企画立案・実施 学外への防災・安全安心教育と連携したスポーツ指導の推進 スポーツを通じた地域活性化と自走できる収益力ある取組の企画・実施 学生アスリートが地域活性化分野で活躍できるキャリア支援活動
具体的に 行った業務	スポーツ振興策の企画立案・実施 安全安心基準の策定（学内、学外共通）と普及活動 学外へのスポーツ指導、防災、安全安心教育の普及および指導マニュアルの策定 スポーツを通じた地域活性化と大学収益力向上に向けた取組の企画立案・実施 学生アスリートが地域活性化分野で活躍できるキャリア支援活動の展開 コンソーシアムの中心として、地域の活性化に資する取組等の企画立案・実証事業の実施

### 3. 大学のスポーツ資源を活用したコンソーシアムの形成及び事業の実施

学内組織の協力を得て、三木市・企業・各種団体等を中心に形成する。

#### ○学内

- ・コミュニティ交流総合センター（地域連携を担当）
- ・セーフティマネジメント教育研究センター（防災教育を担当）
- ・キャリアセンター（強化クラブ部員の社会貢献活動を強みとした就職支援）
- ・広報課（大学HPの運営、地域・マスメディア等への広報）

#### ○学外：コンソーシアム組成候補団体

- ・三木市：大学と包括連携協定を締結し、様々な分野で協働・協力  
企画政策課、縁結び課、産業振興課、ゴルフのまち推進課など
- ・三木市教育委員会：地域交流イベントのサポート、広報など
- ・三木市ゴルフ協会：ゴルフ場見学、地域交流イベントの会場提供など
- ・兵庫県広域防災センター：各種防災イベントに教員・学生が参加
- ・応援する会：本学野球部のサポーター、三木市内に強いネットワーク

#### 【本年度のコンソーシアム組成候補団体】

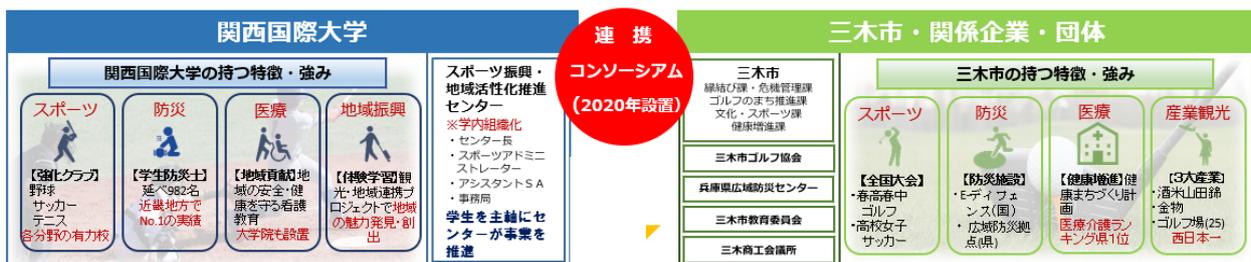
丹波市：大学と包括連携協定を締結し、主として教育活動で協力

三木市内自治会：日常的に連携し、顔が見える関係を維持

三木商工会議所、吉川町商工会：会員企業への広報、事業の共催も実施

企業：市内運動具販売会社、飲食品メーカーなど、イベント協力を期待

図表 コンソーシアムの目的や取り組み方向性



### 第3章 地域活性化に向けた具体的な取組の実施結果

#### 1. スポーツ×防災イベントの実施

日時：2021年7月10日（土）

場所：関西国際大学 三木キャンパス グラウンド、体育館ほか

- 概要：
- ・防リーグ・プログラム4 競技、KUISs オリジナル 3 競技の合計 7 競技を実施
  - ・参加者：三木キャンパス学生 70 名 ※コロナ感染症拡大により規模縮小
  - ・チーム対抗・タイムトライアル方式とし、スタンプラリー形式を導入した。
  - ・KUISs オリジナル競技は、昨年度購入した防災備品を活用した救急救命、簡易トイレ組立・解体ゲームなどを実施。卒業生による心肺蘇生の指導を行ってくれた。
  - ・本学HPでの報告内容 [https://www.kuins.ac.jp/news/\\_11711.html](https://www.kuins.ac.jp/news/_11711.html)



開会のあいさつ：山下副学長



(イベントにご協力頂いた、教職員スタッフ)



防災フェスでは感染予防のために  
チーム分けにカラー軍手を使用しました。



競技前に全員でラジオ体操を行いました。

参加者全員をランダムに 11 チームに分け、7 競技をスタンプラリー形式で回り、各チェックポイントでのタイムと総合タイムで順位を競いながら、防災意識を向上させ、学生・教職員がイベントを通じて交流した。

7競技は、**KUISs オリジナル** の3競技と**防リーグ ※**というプログラムからの4競技から構成されている。スポーツの要素だけではなく、図書館に行かなければ答えが見つからない、災害に関するクイズでは知力も競った。いずれも、災害時の対応を想定した競技です。どの順番で回るか、混雑をどう回避してスピーディーに回るかを各グループで作戦を練って競った。

**雨天用 競技一覧マップ**

①キャットワイクルレース  
土砂やガレキなどでは小回りが見えず、滑りにも強い「輪車」を使う障害物レースです。

②レスキュータイムアタック  
災害時でも入手しやい「毛布」を担架代わりに使い、負傷者を安全に運ぶ障害物レースです。

③キャタピラーエスケープ  
火災時の煙の中や低所など、姿勢を低くして行動する速さを競うレースです。

④ゴ！ゴ！キャリー  
この競技は、避難所などに多くある物資をチームで協力して運搬し、効率よく離れたスペースに運搬する体制を競います。体力と知力が必要となる競技です。

⑦簡易トイレ組み立て競争  
災害時を想定しながら、簡易トイレの組み立て競争。体までのタイムを競う。

⑧心肺蘇生トレーニング  
あなただけの前で、心室細動という致命的な状態による突然の心停止を起して人が倒れたら、緊急隊の中で命懸けに人命救助がおこなえるか！

**『防リーグ』～スポーツ×防災フェス～**

**レッド TEAM**

競技名	参加人数	所要時間
キャットワイクルレース	3人	10分
レスキュータイムアタック	3人	10分
キャタピラーエスケープ	4人	10分
ゴ！ゴ！キャリー	4人	10分
簡易トイレ組み立て競争	全員	10分
心肺蘇生トレーニング	全員	10分
総合タイム		

強化クラブの学生は、全員が経営学部所属であり、経営学部には防災・危機マネジメント専攻があることから、スポーツの親和性を取り入れることで、防災を身近に感じ、身体で覚えることができた。

<KUISsオリジナルプログラム>

**簡易トイレ組み立て競争**

**心肺蘇生トレーニング**

**メディアライブラリー (図書館) で答えを探せ!**

## <防リーグプログラム>

### レスキュータイムアタック



身の回りのもので担架を作り負傷者を搬送する

### キャタピラエスケープ



低い姿勢で煙を吸い込まないよう避難する

### キャットサイクルレース



小回りの利く一輪車の操作方法を身につける

### ゴーゴーキャリー



支援物資を限られたスペースに整理・収納

※防リーグとは、阪神・淡路大震災をはじめとする震災体験から学んだ教訓をもとに、災害時に役立つ様々な防災の知識と技をスポーツ競技として開発したもので、株式会社シンクが企画運営、NPO 法人プラス・アーツがプログラム監修している。また、グッドデザイン賞 2019 や第 8 回スポーツ振興賞スポーツ庁長官賞などの受賞歴もある優れたプログラムである。



## 2. 三木キャンパスのオープンキャンパスでのスナッグゴルフ体験

実施日：2021年5月23日（日）、6月13日（日）、7月4日（日）、7月18日（日）  
8月1日（日）、29日（日）、9月26日（日）、12月12日（日）、3月20日（日）

場 所：三木キャンパス 4号館1階 ラーニングcommons

内 容：スナッグゴルフおよびパターゴルフのデモンストレーションを実施。来場した高校生と共に同行の保護者にも楽しんで頂け、ゴルフに興味関心を持つ機会が提供できた。



オープンキャンパスでのスナッグゴルフの様子

## 3 ゴルフ場体験

実施日：2021年11月2日（火）

場 所：三木ゴルフ倶楽部

目 的：市内に点在する25ゴルフ場の見学可能コースを訪問し、学生がゴルフに親しむ機会を作り、三木市が有するゴルフ資源の豊かさを実感させる。

方 法：経営学部の必修科目「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」（2年生49名）と連動し、三木市・三木市ゴルフ協会の協力を得てゴルフ場を訪問、競技・施設等の概要説明後、コース周辺を見学、打球練習も行った。また、レストランではホスピタリティについても学んだ。



三木ゴルフ倶楽部でのゴルフ場見学の様

#### 4. 神戸電鉄「広野ゴルフ場前駅」デコレーション事業

点灯期間：2021年12月17日～2022年2月21日

場所：神戸電鉄 広野ゴルフ場前駅舎

目的：「広野ゴルフ場前駅」の駅名を含む写真をインスタグラム等のSNSで情報発信する  
これにより、駅の認知度を高め神戸電鉄・粟生線の利活用を図る。また、廣野ゴルフ倶楽部に関する情報を提供し、その存在を再認識することで世界屈指の名門クラブを擁する三木市民であることを誇りに思える機会を提供する。

内容：ゴルフは、金物、山田錦と並び三木市の三大産業のひとつにもかかわらず、昨年の「生涯スポーツI」の授業における最終レポートの課題を「三木市民にゴルフを広める具体策を提案せよ」としたところ、三木市民の学生から「授業で初めて廣野ゴルフ倶楽部が世界有数であることを知った」との驚きが表明された。そして、三木市民が再認識すれば、ゴルフ文化を根付かせるきっかけになるのではないか、という提案があった。この提案を具体化したのが本事業である。

駅名看板を中心に、廣野ゴルフ倶楽部の格式・雰囲気損なわない色調・デザインによる電飾を飾りつけた。インスタグラム用パネルも準備し、訪れた学生たちもパネルを使って記念撮影を楽しんだ。

また、駅舎内には、廣野ゴルフ倶楽部の紹介パネルを設置し、その長い歴史と存在を鉄道利用客や周辺住民に再認識する機会を提供した。



## 5. 地域住民参加の「親子でスポーツ×防災フェス」イベント

実施日：2022年2月5日（土）午後

場 所：関西国際大学 多目的グラウンド他

目 的：お子さんを含む家族単位で気軽にスポーツ・ゲームへ参加することを通して、災害を身近に捉え、忘れがちな防災・減災知識を体得してもらう。

参加数：10組34名

内 容：7月のトライアルに参加した学生たちがスタッフとして準備・運営を行った。

コロナ禍での実施であるため、感染症対策を徹底した上で参加人数を絞り10組34名の参加を得た。各組にはアテンド学生が1名ずつ付き、キャンパス内のブースを案内しながら、時には競技もサポートも行った。トライアルの結果を踏まえ、以下の7種目を回るスタンプラリー形式とした。参加した子どもたちは、各ブースの競技や協賛企業によるクイズを楽しみ、防災意識が深まったようである。7ブースをコンプリートした参加者に記念品の防リーグ缶バッジをプレゼントした。

防リーグ：キャタピラエスケープ、キャットサイクルレース、ゴーゴーキャリー  
ウォーターレスキュー

KUISs オリジナルプログラム：簡易トイレ組み立て競争、心肺蘇生トレーニング

防災ブース：株式会社ヤクルト本社兵庫三木工場、グリコマニュファクチャリング株式会社兵庫工場、江崎グリコ株式会社



親子でスポーツ×防災フェスの様子

## 6.「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」

### ①実施概要

日程：2021年2月7日（月）～9日（水）

場所：三木キャンパス、三木ゴルフ倶楽部（三木市細川町垂穂字槇山 894-827）

内容：今年度は経営学部の1・2年生10名が受講、男子学生が多かったため、看護学科中心であった昨年よりもダイナミックな授業展開となった。初日は体育館での体幹トレーニングからスタートした。「4スタンス理論」を提唱する廣戸聡一先生による講座である。受講生たちは、自分がA1、A2、B1、B2のどのタイプなのかを判定してもらい、午後のゴルフ実技に備えた。午後からは、場所を三木ゴルフ倶楽部に移し実技の授業を行った。日本人が世界ツアーに挑むようになった先駆けである鈴木規夫プロから、3日間にわたって贅沢なレッスンを受けた。また、廣戸先生には、特別講座もご指導頂いた。

### ②ゴルフ実習・体幹トレーニング

2/7（月）1,2限 体幹トレーニング（関西国際大学体育館） 廣戸 聡一氏

3,4限 ゴルフ実習（三木ゴルフ倶楽部） 鈴木 規夫氏、並河 恭子

3,4限 体幹トレーニング特別講座 廣戸 聡一氏

※3限：保健医療学部対象 / 4限：野球部対象

2/8（火）1～4限 ゴルフ実習（三木ゴルフ倶楽部）

2/9（水）1～4限 ゴルフ実習（三木ゴルフ倶楽部）

2/10（木）2限 オリンピアンによる講演会

体幹トレーニングの様子



## ゴルフ実習の様子



報知新聞2022年2月10日掲載記事



神戸新聞2022年2月10日掲載記事

### ③公開講座「フィギュアスケート 氷の上で感じた世界」

日程：2022年2月10日（木）10：45～12：15

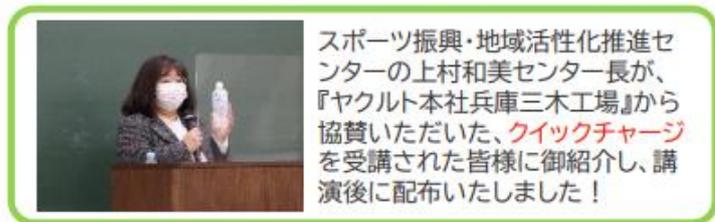
場所：関西国際大学 三木キャンパス4-101 教室

講師：小塚 崇彦氏(プロフィギュアスケーター)

内容：冬季オリンピック期間中の2月10日（木）に、オリンピック8位入賞経験があるプロフィギュアスケーター小塚崇彦氏による講演会を三木キャンパスで開催した。この講演会は、スポーツ庁委託事業の一環として開講している「生涯スポーツⅠ（ゴルフ実技）」の講義部分を一般の方々へも公開講座として開放した。厳重な新型コロナウイルス感染症対策のもと、受講学生・公開講座申込者等32名が参加した。

講演は、オリンピックの起源や歴史に関するクイズを交えながらの説明や現役時代の動画の紹介や、現在の活動について、わかりやすく丁寧に語られた。特に、元選手の経験を生かして開発に取り組まれているKOZUKA BLADES（ブレード）は、現物を提示して、1つの金属の塊から削り出していく特殊な製造方法を紹介した興味深い内容であった。

質疑応答では、感染症対策で質問票を用いたが、「現役時代の1日の練習時間は何時間だった？」（⇒ほぼ終日）「試合前のルーティンはあったか？」（⇒ありすぎるほど）「プログラムの選曲はどのようにしたか？」（⇒偶然もあるが感性が重要）等、時間内に収まらないほどの多くの質問が寄せられた。最後に、小塚氏は最も大切にしているのは「感謝」だと述べ、受講者へもその大切さを伝えて下さった。



スポーツ振興・地域活性化推進センターの上村和美センター長が、『ヤクルト本社兵庫三木工場』から協賛いただいた、**クイックチャージ**を受講された皆様に御紹介し、講演後に配布いたしました！

## 7. 卒業生アスリートによる新入生向け講演会

日 程：2022年2月16日（水）

9：30～10：30 接続リハーサル及びスタッフへのアドバイジング

10：30～11：30講演会

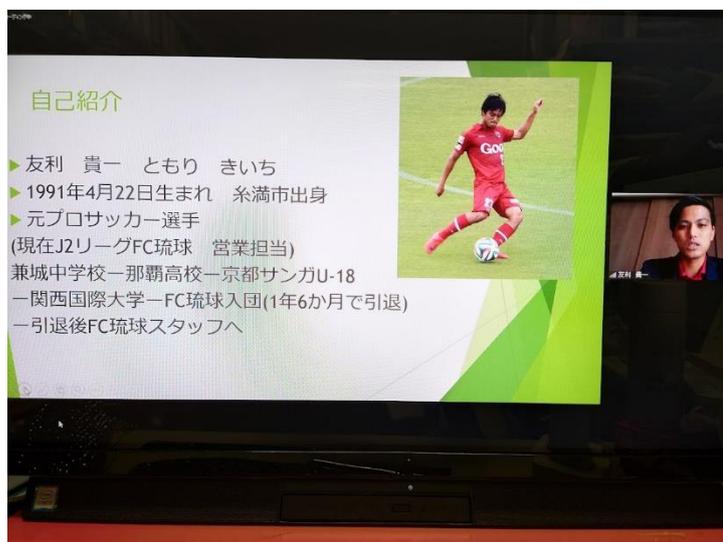
場 所：ZOOMによるオンライン実施

講 師：友利 貴一 氏

（琉球フットボールクラブ株式会社 事業部・本学人間科学部 2014年卒業生）

対 象：2021年度新入生のうち強化クラブ（硬式野球部、サッカー部、硬式テニス部）入部予定者。硬式野球部 50、サッカー部 33、硬式テニス部 9、合計 92人

内 容：4月入学予定の強化クラブの学生に向けて、学修支援センターが主催する「プレウォーミングアップ学習」の中で、文武両道の有意義な大学生活を送るために経験談を混じえて語った。



## 第4章 その他

○第18回 スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市運営支援

日 程：2021年11月20日（土）

場 所：三木ゴルフ倶楽部

内 容：インターンシップ受講者が大会運営補助を担当した。

